

放課後等デイサービス toiro 西谷

<p>子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか</p> <p>「はい」 69.6% どちらともいえない 30.4% 「いいえ」 0.0% 無回答 0.0%</p>	<p>職員の配置数や専門性は適切であるか</p> <p>「はい」 82.6% どちらともいえない 17.4% 「いいえ」 0.0% 無回答 0.0%</p>
<p>事業所の設備等は、スロープや手すりの設置等バリアフリー化への配慮が適切になされているか</p> <p>「はい」 87.0% 「いいえ」 4.3% 0.0% 0.0%</p>	<p>子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画Ⅰが作成されているか</p> <p>「はい」 95.7% どちらともいえない 4.3% 「いいえ」 0.0% 無回答 0.0%</p>
<p>活動プログラムⅡが固定化しないように工夫されているか</p> <p>「はい」 100.0% どちらともいえない 0.0% 「いいえ」 0.0% 無回答 0.0%</p>	<p>放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか</p> <p>「はい」 43.5% どちらともいえない 30.4% 「いいえ」 26.1% 無回答 0.0%</p>
<p>支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか</p> <p>「はい」 100.0% どちらともいえない 0.0% 「いいえ」 0.0% 無回答 0.0%</p>	<p>日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか</p> <p>「はい」 100.0% どちらともいえない 0.0% 「いいえ」 0.0% 無回答 0.0%</p>
<p>保護者に対しての面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか</p> <p>「はい」 69.6% どちらともいえない 17.4% 「いいえ」 13.0% 無回答 0.0%</p>	<p>父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか</p> <p>「はい」 69.6% どちらともいえない 4.3% 「いいえ」 26.1% 無回答 0.0%</p>
<p>子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか</p> <p>「はい」 91.3% どちらともいえない 8.7% 「いいえ」 0.0% 無回答 0.0%</p>	<p>子どもや保護者との意思疎通や情報伝達のための配慮がなされているか</p> <p>「はい」 100.0% どちらともいえない 0.0% 「いいえ」 0.0% 無回答 0.0%</p>
<p>定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関連自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか</p> <p>「はい」 100.0% どちらともいえない 0.0% 「いいえ」 0.0% 無回答 0.0%</p>	<p>個人情報に十分注意しているか</p> <p>「はい」 91.3% どちらともいえない 8.7% 「いいえ」 0.0% 無回答 0.0%</p>
<p>緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか</p> <p>「はい」 95.7% どちらともいえない 4.3% 「いいえ」 0.0% 無回答 0.0%</p>	<p>非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか</p> <p>「はい」 100.0% どちらともいえない 0.0% 「いいえ」 0.0% 無回答 0.0%</p>
<p>子どもは通所を楽しみにしているか</p> <p>「はい」 95.7% どちらともいえない 4.3% 「いいえ」 0.0% 無回答 0.0%</p>	<p>事業所の支援に満足しているか</p> <p>「はい」 95.7% どちらともいえない 4.3% 「いいえ」 0.0% 無回答 0.0%</p>

頂いたご意見からの対応等について

概ねサービスには満足を受けている印象だが、「育児への助言」の点にもう少しニーズがあるように見受けられるので、保護者の方が助言を求めているのかもしれない場面で適切な助言ができるように、事業所内カンファレンスや日々の情報共有を通して、スタッフ全体の各児童に対する理解を深めておくよう努める。

また、利用人数に比しての事業所の部屋の広さの問題は毎年取り沙汰されるが、平均利用10名を目指していくことでこの部分の不満は解消されていくものと考えられる。

バリアフリーについての「はい」ではない声については、割合ではなくそう感じている方がいる事実が重要な為、肢体不自由児の通所に際してもう少し環境を改善できないか検討する。